2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)		
ナンバリングコード	P31702	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 / 後期
必修・選択区分	必修		
授業コード	P170260	クラス名	鈴木研究室
担当教員名	鈴木　秀男		
履修上の注意、 履修条件	卒業研究として希望する専門領域の担当教員クラスを履修すること。 受け身の姿勢にならず、積極的な姿勢で授業に臨んでください。		
教科書	必要に応じて資料を配付します。		
参考文献及び指定図書			
関連科目	情報システム回路入門、組込み演習、研究ゼミナールA、卒業研究		

○成績評価の指標 / ○成績評価基準(合計100点)

到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	各自のテーマに対して深い関心を持ち、自ら意欲的に研究する態度を示すことができる。			20点
【知識・理解】	研究テーマに関する専門的な知識を身につけることができる。		20点	5点
【技能・表現・ コミュニケーション】	研究テーマに関する専門的な技能と表現力を身につけることができる。		20点	5点
【思考・判断・創造】	専門的な知識・技能・表現力をもとに、研究テーマに対して独自性のある分析・解決法を示し、成果物の性能を評価することができる。		20点	10点

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

ゼミナールに取り組んだ成果物、自分で考え、努力した成果や論理的な考えができているかどうかを評価の対象とします。
発表や報告など、努力した成果や論理的な考えができているかどうかを評価の対象とします。
授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。

○授業の目的・概要等

授業の目的	研究ゼミナールは4年次の卒業研究に着手するための準備を行うことを目的とした科目です。学生に専門教育科目の履修だけでは不足しがちな専門教育を学ぶ上での学習方法・学習態度を身につけます。この授業の内容は卒業研究へと発展してゆきます。また、卒業認定・学位授与の際に必要となる、コース必修科目となっています。	
授業の概要	この科目は各専門領域の教員がゼミナール形式で開講することで、卒業研究に着手する上で必要となる専門領域に関するより高度な知識・技術の習得をめざします。 毎回、報告の場を設けます。報告内容についてフィードバックとして次回の講義で解説します。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「PBL (プロジェクト型授業)」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ:ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

毎回ゼミ内容をまとめてください。
疑問点等を調べて解決に向けて努力してください。解決しない場合でもその過程を記録し次回に報告してください。
研究室は開放していますので、積極的に自学自習の場として使ってください。
講義終了時には、振り返りとしての報告書を作成してください。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : 研究ゼミナールB（Seminar of Study B ）　授業コード:P170260
担当教員: 鈴木　秀男

学修内容

1. 研究計画作成
卒業研究に向けて何が必要かを検討して、必要となる知識・技術を身に付けるための計画を策定する。
計画は週ごとにテーマや取り組む内容を決めて作成する。

予習: 研究ゼミナールAでの取り組みをもとに何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

2. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第2回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

3. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第3回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

4. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第4回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

5. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第5回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

6. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第6回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

7. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第7回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

8. 中間報告
これまでに学修した内容について、中間報告を行う。また、今後の計画についても検討する。

予習: 第8回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : 研究ゼミナールB（Seminar of Study B ）　授業コード:P170260
担当教員: 鈴木　秀男

学修内容

9. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第9回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

10. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第10回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

11. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第11回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

12. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第12回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

13. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第13回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

14. 調査・研究・制作等
作成した計画に基づき、学修を継続する。

予習: 第14回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

15. 最終報告、制作物等提出
最終的な報告及び報告書の提出を行う。また、制作物等についても提出する。

予習: 第15回目の計画に基づき何が必要かについて調べレポートにまとめる。（約2.0h）
復習: ゼミの内容及び考察内容をレポートにまとめる。（約2.0h）

16.

予習:
復習: